

# 職域接種参加協力への御礼

(福)飛山の里福祉会のワクチン接種へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。

10月に入り「寒露」を迎える頃となりました。コロナ禍の中、皆様にはご清祥のことと拝察申し上げます。

宇都宮会場(絆館)は9月25日、真岡会場(そうそう長沼)は10月2日をもって、予定された約2,000名(2回の接種で約4,000回)の接種が無事終了いたしました。当法人による新型コロナワクチン接種にご理解を頂き、二回の接種に臨まれましたこと、委託接種事業者としてあらためて深謝申し上げます。

当法人は、障がい者のある方や介護を必要とする高齢者の方へのサービス提供を中心に福祉事業を実施するほか、真岡市西田井では、内科・小児科・歯科を診療科目とした「田井の里クリニック」を開設しております。当該クリニックでは、昨年4月から発熱外来を開始し、その後、抗体・抗原検査、PCR検査を導入しました。そして、今年4月からは新型コロナワクチンの接種を始めたところです。

今回の職域接種開始にあたっては、6月から7月にかけて皆様にお声かけし、ご賛同を頂き予診票等書類の準備を整えて頂きました。酷暑あるいは雨の中会場まで足をお運びくださったこと、会場内でも静粛かつ順序を追って接種進行にご協力を頂いたこと、その度毎に感激をしております。現場係員もスムーズな進行が出来たことは、皆様方のお蔭と感謝いたしております。

豊富な経験と実績、使命感と熱意溢れるドクターと看護師、二つの会場で約40名の当法人スタッフが対応をさせて頂きました。また、手薄なところをいくつかの団体・福祉施設の職員の方々にお手伝いを願い、この3か月に亘る職域接種事業が完了しましたことを重ねて感謝申し上げます。

コロナ禍による閉塞感が漂い、愚痴や批判がつつい口をついて出てしまいがちな世の中、今回私たちスタッフが感じたのは、皆でコロナ禍を乗り越えようとする気持ちや、互いに気遣い感謝の言葉を交わす姿で

した。スタッフにお掛け頂いた言葉にどれだけ感激したかわかりません。

困難にあたっては、出来ることやるべきことに向かって皆で取り組む姿勢と実践が大切であることを学びました。周りの方々もそれを見ていて理解と協力を示してくれるという、地域の中での一体感にも浸れました。

このことは当法人と職員にとって、大きな財産となりました。そしてこれを糧に、一步一步地域の一員である職員と法人の歩みを進めて参りたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

社会福祉法人 飛山の里福社会

理事長 直井 修一

職員一同